

「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」の概要について

(我が国における旅行消費の経済波及効果(平成16年度))

調査の目的

本調査は、平成12年度(2000年度)から4ヶ年にわたり国土交通省旅行振興課が実施した「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」に引き続き実施された調査である。

これまでの調査研究結果を踏まえ、平成15年度(2003年度)から総務省の承認統計として「旅行・観光消費動向調査」を実施して、平成16年度(2004年度)における我が国の旅行消費額と、それがもたらす経済波及効果を推計することが目的である。

調査の方法

総務省の承認統計として「旅行・観光消費動向調査」を年4回実施し、我が国における旅行消費額を推計した。

さらに、この旅行消費額を産業部門別に分類し、平成12年(2000年)産業連関表を用いて平成16年度(2004年度)の旅行消費が我が国にもたらした経済波及効果を推計した。

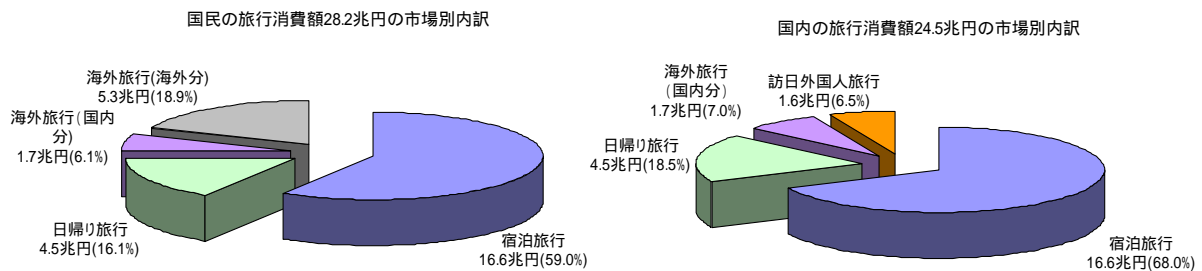
平成16年度(2004年度)の旅行消費額

平成16年度(2004年度)の旅行消費額は24.5兆円(訪日外国人旅行消費額1.6兆円を含む)と推計される。海外に支払われた海外旅行消費額は5.3兆円であり、国民の旅行消費額は28.2兆円(訪日外国人旅行消費額1.6兆円を除く)と推計される。

国内の宿泊旅行及び日帰り旅行については、微減となっているが、海外旅行の国内分が大きく伸び国民の旅行消費額(国内分)は若干の増加となった。また、訪日外国人旅行の増加により国内旅行消費額も16.5%の増加となった。海外旅行の海外分も25.6%と大きく増加し、国民の旅行(海外分を含む)で4.7%の伸びを示した。

(単位:十億円)

	a	b	c	d=a+b+c	e	f=d+e
費目	宿泊旅行	日帰り旅行	海外旅行 (国内分)	国民の旅行 (国内分)	訪日外国人 旅行	国内 旅行消費額
旅行支出計(旅行中+前後)	16,633	4,534	1,712	22,879	1,584	24,463
旅行前後支出計	2,562	833	514	3,909		
旅行前支出	2,339	721	465	3,526		
旅行後支出	223	112	49	383		
旅行中支出計(参加費+総支出額)	14,071	3,700	1,198	18,970		
旅行会社収入(参加費内訳)	304	42	301	647		
交通費	4,872	1,803	712	7,386		
宿泊費	3,553	0	17	3,571		
宿泊費(別荘等帰属計算)	645	0	0	645		
飲食費	1,878	551	26	2,455		
土産代・買物代	2,167	855	142	3,163		
入場料・施設利用料	463	399	0	862		
その他	190	51	0	241		
			g	h=d+g		
			海外旅行 (海外分)	国民の旅行 (含海外分)		
			5,330	28,208		



我が国の経済への貢献（経済波及効果）

旅行消費による生産波及効果 55.4 兆円は、「平成 12 年（2000 年）産業連関表」の国内生産額 949.1 兆円の 5.8%にあたり、付加価値効果 29.7 兆円は平成 16 年度（2004 年度）名目 G D P 505.5 兆円の 5.9%に相当する。

また、雇用効果 475 万人は平成 15 年度（2003 年度）就業者 6,512 万人（「国民経済計算年報」（内閣府）の 7.3%を占めている。税収効果は 4.8 兆円と試算され、この額は平成 16 年度（2004 年度）税収見込額（国税 + 地方税）80.4 兆円の 6.0%に相当する。

